

## キリコ祭り靖国神社にご奉納

3月26日〜28日靖国神社境内で千代田区さくら祭りに珠洲商工会議所の「物産展」が出店し、地酒、わかめ、塩などの珠洲特産品を販売、28日「東京で能登の祭りをやる会」がキリコ祭りが初登場、大勢の能登出身者も桜見かたがた訪れ久しぶりの故郷の祭りを楽しんだ。地元から駆け付けた勇壮な馬繰りキリコ太鼓が来場の観客を魅了した。

地元からは、今井欽次珠洲商工会議所会頭、茅山一男珠洲市議会議長、重政靖之のとすずなり理事長らが上京、首都圏のふるさと会から東京珠洲会谷克巳会長、さい

たま石川県人会安田正会長、東京輪島会坂本哲副会長や石川県人会西橋事務局長、石川県東京事務所松原公慈所長らが激励に訪れた。夕刻境内を2時間余り巡行し、本殿に参拝した後来年もキリコ祭りに集まることを誓い散会した。

〈鹿肝泰春氏撮影〉



「東京奥能登応援団のホームページ」アドレスは <http://okunoto.net> です。

いらむ

アイデンティティ ⑥

歴史を刻んだ『宣明暦』と「珠洲」無き非日本地図

奈良・平安時代に、今の北朝鮮・中国東北部・ロシア日本海沿岸地方にかけて唐の支配下の「渤海国」という国があった。日本史の学習で、この国が対岸に位置する日本との交易政策を重視したことは学んだが、ざりとて当時の教育指向に能登とのかかわりの地理的アプローチはなかったし、意識させられる教育指導の観点もなかったようである。

後年、史書『日本三代実録』に、平安3年・つまり西暦859年正月22日の条「能登国珠洲郡に、渤海国の使者烏孝慎以下百余人が来着したという報せが都にとどいた」という記録のあることを知った。このことで調べて見ると、近年の研究によれば、200年間に35回も国使を来航させている。主な受け入れ港となったのは奥能登では外浦側にある志賀町福浦港であった。ここでは渤海使を接遇する客院や施設が設けられ、のち天然の良港として明治時代まで北海道と大阪を結ぶ北前航路の重要な寄港地となった。

ここで述べたい趣旨は、珠洲に到着した烏孝慎一行が当時唐製作の新方式暦『宣明暦』を朝廷に献上し、わが国の正式な暦として採用されて、『貞享暦』（1685）に代わるまで約800年間使用されたという史実である。厳冬の珠洲の荒海に異国の大船を見た古代珠洲人には驚きであったろうが、その後の歴史を刻み記すようになった暦の顛末を知るよしもなかったに違いない。しかし、確かにこの『宣明暦』の伝来に象徴されるように、奥能登も大陸からの新しい文明を受け入れる玄関口であったことを後世の我々は豊かに認知してしかるべきであろう。東北アジアの平和構築時代といわれる未来志向の今日的状況においておや！

ところで、もう一つ逆に手短かに加えて文句を言いたいことがある。それは、ジバング倶楽部ガイドブック（男性65歳・女性60歳以上が会員になって、乗車券などの割引のあるJR東日本）19ページを開かれよ。我が珠洲は紙外彼方・日本海に沈下。奥能登線廃止でJRとは直接関係がなくなつたとはいえ、何をか言わんやである。これは日本地図に非ず！！（押上武文〈府中市・宝立町出身〉）

※追記補説 地図の不備を指摘したところ、この原稿を提出した後、ガイドブックNO.62の20ページに珠洲部分を延長し追図される。一件落着。



# 「上京キリコ」勇壮

## 能登出身者ら 靖国神社練り歩く

東京都千代田区などが主催する「ぎくらまつり」に28日、能登のキリコが登場し、担ぎ手となった「東京で能登の祭りをやる会」メンバーらの「ヤッサー、ヤッサー」の掛け声が、花見客でにぎわう靖国神社の境内に響いた。珠洲市観光物産展のテントも設けられ、見物客を能登の祭りにいざなった。

「東京で能登の祭り」在住の能登出身者らで、身の八木淳成実行委員をやる会」は首都圏「つくる会」で、珠洲市出「長が呼び掛けた。

キリコは珠洲から移送し、珠洲市ゆかりの安田建設(西東京市)の稲城工場(稲城市)で保管している。今回は能登半島のシンボルである見附島をプリントした法被を新調した。

同神社のソメイヨシノは東京の標準木。五分咲きとなった桜の下には外国人観光客の姿も目立ち、威勢良い太鼓と笛、掛け声で練り歩くキリコの姿を見て、しきりにシャッターを切る姿もみられた。

珠洲市議会の茅山一男議長、珠洲商工会議所の今井欽次会頭、NPO法人能登すずなりの重政靖之理事長らも駆け付け、珠洲の観光や物産を紹介した。

珠洲から移送祭りに登場



境内を練り歩くキリコ  
—東京・靖国神社

### 「すずろものがたり」

(昭和33年2月発行から)

今は昔のはなし・ほそかわ秋堂 (その6)

(鉦端、焚きたにあたりつつ声を出して読んでください)

——ほれから能登弁の項——

ほれから。とうとう一昨年(おとし)農地改修で農道を立派につけてしもたけど大体この不動農道の道順に昔ア飯塚から馬にほだ(※木骨)かつがへて(荷せて)蛸島まで通った路がチャーンとあつたがやぞけ……。世の中ア変わるもんやけの……。

御滝不動様も、あんた、ご本尊様ア、石で彫った不動明王さまやんけ、誰一人土の中に埋まっていたことを知らず、川尻の小島爺さまと上戸の中谷爺さまと二人同じ夢を何回も見たがやてて、この二人の爺さまらうちア云とつたわけ、ほれで、おかしいなと思ひ夢見たあたりを掘ったらその通り、今の不動石佛さまが出てきたがやけ。あんなところに昔どうして誰がお祭りしたもんか……。結局、書いたもんもなし。人の云い傳へを本當にして行くほか仕方ないのけ……。あの不動さまア黒滝城主さまの陣中の守り本尊さまやたてて云うとるがやけの……。

何にしてもあの山畑から要害あたり一面の高台上って見さつしま、そう高もないがに内浦の全部が望まれて何ともいわれん良い眺めやわけ。気も心も美しいがにしてほれから不動さま(今の太聖院)に参つて戻らしかの、俺ア昨年(きよねん)の暮れに櫻の木百本植へとけ、吉野の櫻けの。(未完)



「今は昔のはなし」如何でしたでしょうか、能登弁を思い出されましたか。古老の新保貞吉さんの語り口にジイジ(お爺さん)やトート(お父さん)を思い出された方、かつての能登の暮らしや風景を思い出された方もおいでるのでは……と思っています。





で  
き  
ど  
と

## 石川県人会総会・新年祝賀会

総会の開会の辞に立った石田寛人会長は、新年にあたり「各ふるさと会、学校同窓会、同好会などとの連携を強め、親しみやすい県人会を目指したい。いしかわ県人祭や交流会へ積極的に参加をお願いしたい」と挨拶した。その後、収支報告や事業計画などの議案を審議し、新役員を選出した。

続いて行われた「新年祝賀会」では、能美町出身の俳優 吉野悠我さんが望郷石川「あの人に会いたい」を熱唱し開会した。来賓の祝辞では、知事、国会議員らに続き、珠州市長代理の水元副市長も祝辞を述べた。参加者は故郷の食材で調理された料理と地酒を頂きながら江戸芸かっぱや北脇貴士さんの相撲甚句などの余興や抽選会を楽しんだ。



前田名誉会長の乾杯  
(中央) 来賓参加の水元英樹珠洲副市長

能登井がぞくぞく首都圏に登場

今年1月に東京ドームで行われた「全国丼大会」にレストラン浜中（上戸町）がコウバコ丼を引っさげて能登丼が首都圏に初登場し、その後3月には、伊勢丹相模原店や池袋西武百貨店で開催された「金沢・能登展」で、庄屋の館、古民家レストラン・典座（三崎町）、レストラン浜中が outlet し、能登牛ステーキ丼、ぶり照り焼き丼、牡蠣丼などを提供した。能登の食材を生かしたオ리지ナル丼に首都圏のグルメを唸らせた。



石川県立  
飯田高等学校同窓会

～東京支部総会・懇親会～

- 日時 5月22日(土)  
11:00 ~ 14:30
- 場所 グランドアーク半蔵門  
千代田区隼町1番1号  
(半蔵門駅徒歩2分 麴町駅徒歩7分)
- 会費 8,000円

**特別講演** 東京純心大学学長

松尾 弑之氏 (12 回生)  
「現代アメリカの明と暗」

**同窓会出席連絡先（新規加入者歓迎）**  
**表法律事務所 03-3862-9974**

のとキリシマツツジ写真・盆栽展示会



3月2日から7日まで、新宿御苑インフォメーションセンターで、能登の愛好家が丹精込めて育てた「のとキリシマツツジ」を早咲きさせて展示会が行われた。一足早いツツジの展示会に入苑者が足を止めて会場を訪れ深紅に咲き揃った盆栽を觀賞した。新宿御苑苑長は、のたとキリシマツツジの魅力に引かれて期間中に3度も訪れるなど首都圏のツツジ愛好家達を大いに堪能させた。

## ◎東京でのふるさと行事案内

4月13日(火)～19日(月) 於・そごう千葉店

「加賀百万石金沢・能登の美味と美技」  
（加賀能登のれん会） 076-2332-01

5月9日(日) 午後2時から

## 東京珠洲会総会

御徒町吉池ビル 池田屋

【お問い合わせ先】

谷克巳会長 03—3821—0540 まで

5月19日(水)～25日(火) 於・さいか屋川崎店

「第1回加賀・能登・金沢物産展」

(加賀能登特産名品会) 076-238-6961

5月22日(土) 11:00 ~ 14:30 於・グランドアーク半蔵門

「飯田高等学校同窓会」

(表法律事務所) 03-38862-9974

6月4日(金)～5日(土) 石川県人会「郷土訪問旅行」

金沢・百万石祭り

く 封国祭・百万石行列と湯涌温泉の旅

◎ふるさと案内

5月のとキリシマツツジ「深紅の旅」はいかがでしょうか

〔珠洲市大谷町・池上邸〕

能登半島の各地で古くから植栽されているのとギリシマツツジが5月上旬、燃えるような深紅の花が一斉に咲き誇ります。

各家の庭で大事に手入れされていますが、今年も開花の期間、庭を一般に解放しています。

【お問い合わせ先】

能登キリシマツツジ連絡協議会

鳳珠郡能登町天坂乙1-1字83 0768-76-1331

珠洲商工会議所

珠洲市飯田町 0768-82-1115





## 事務局から

靖国神社奉納のキリコ祭りには沢山の能登出身者が来訪されました。有り難うございました。行事とは別に参拝に来られた皆さんの中には、父（祖父）が能登出身で靖国にご祭神になられているので……とお声を掛けられる方も大勢いらっしゃいました。何十年ぶりに会えた郷里出身の方もおられ感慨ひとしおでした。何各方面のご協力を得て盛大に行われたキリコ祭りが東京に定着することを念じるばかりです。

（事務局 光眞）



石川県出身者の皆さん全員が、観光大使♪

## 特集2 アンテナショップ シリーズ12 - 石川 -



— 三つの個性が織りなす魅力 —  
加賀・能登・金沢 江戸本店

技の能登、雅の金沢、粋の加賀と称される三つの地域からなる石川県。そのアンテナショップが日比谷に誕生したのは、平成17年11月のことでした。地元20企業が共同出資し、県や各自治体の協力のもとオープン、4年を経た今では三つの個性を持つ石川県の味わいと趣きに出会える場として定評を得ています。取り扱

目の自然な風合いと上品なデザインが女性に注目されています。店頭では、季節に合わせた特集イベントも定期的に開催されており、昼夜を問わず、幅広い世代のお客様で賑わっています。

■加賀・能登・金沢 江戸本店

千代田区有楽町1-5-12 東宝ツインタワービル1F

■最寄駅…日比谷線・千代田線「日比谷」、有楽町線「有楽町」下車

◆問合せ…03(3500)3883

◆休館日…年中無休(年末年始を除く)

◆開館時間…11時～19時

でつくられた「天然塩」、さらに一番摘みされた茶の茎を焙じた「棒茶」など、まだ東京ではあまり知られていない、石川県ならではの美味が勢揃い。おいしい米と水から作られた地酒、焼酎や能登ワインも人気が高く、珍味とともに買い求められています。工芸品では、輪島塗、金箔加工品など伝統の品々はもちろん、現代の生活にあった最新のものもラインアップ。山中漆器と九谷焼のUSBメモリーは職人の技とITが結びついた新しい工芸品として外国人観光客にも好評です。また黒柿、たもなどの木材を柔らかく加工し、皮と組み合わせた「木のバッグ」は、木



「東京メトロ沿線だより」2010年3月号より

奥能登応援団であることを名乗れば優待が受けられます!!

制作

株式会社警務研修社 TEL. 03-3365-3829 info@kksk.jp